



谷戸沢の風

第
86
号

<http://izumikai.jp/hinode/>

代表 : info@hinodesha.org

社会福祉法人 泉舎 日の出舎

販売 : hanbai@hinodesha.org

施設長 西田 徹

木工機械総合点検実施



ご利用者が使用している糸鋸盤

日の出舎では作業活動として長年木工作業を続けています。新しいものから古いものまで様々な木工機械が揃っています。さらなる安全性の向上のため、3月15日に木工機械の総点検・メンテナンスを業者に依頼し、一日掛かりで行って頂きました。また点検だけでなく、日常の保守点検についても改めてアドバイスを受けました。日の出舎でも安全衛生管理を推進していますので、今後も1年に1回のペースで点検・メンテナンスを行い、安全に作業を行えるよう努めていきたいと考えています。

加藤



ご利用者が使用しているボール盤



職員専用機械：帯鋸盤



職員専用機械：昇降盤

日の出舎でのボランティア活動

伊藤ボランティアさ

初めまして。私は日の出舎で喫茶とカラオケのボランティアをさせていただいている伊藤マリ子と申します。日の出舎さんとの出会いは、日の出舎さんで喫茶を始める計画があがった際に、私が他の施設でボランティア活動、喫茶やカラオケなどをしていた縁で、私も立ち上げに参加させていただくことになったことに始まります。

初めは利用者さんとどう接したらいいのか戸惑いがありましたが、生まれもった打ち解けやすい性格のおかげで、自然と皆さんと馴染んでいったような気がします。それでも始めた頃は、利用者さんに思うように気を配ることができず、注文を聞いたり、出したりする余裕がなかったりして、皆さんに満足してもらえたか不安でした。

最近、皆さんはいつも好きなものを食べて飲んで帰っていくけど、食べるだけの満足を提供するだけでよいのかと疑問を感じることもあります。本当は来てくれた皆さんに声をかけてあげたいのですが…。でも実際には、一時間半の営業時間では、皆さんの注文に応じるのが精一杯で、この件に関しては、今後考えていきたい課題です。喫茶では、利用者さんの好きな食べものをできるだけ取り入れて、一人でも多くの利用者さんに楽しんで頂けたらとスタッフ一同頑張っています。

なぜ私たちが日の出舎の利用者さんと関わっているのかといいますと、同じ人間として、利用者の皆さんと一緒に何かをやったり、助け合ったり、楽しんだりしたいという思いがあるからです。私たちの足りない部分を職員さんに手伝っていただいて、利用者さんたちの要望を聞きながら、スタッフ一同、協力していきたいと思えます。

また、今年一月からカラオケを第四土曜日に行うことになりました。このきっかけは、喫茶に来られる利用者さんから、休日が「寂しい」「つまらない」という声をいつも聞いていたからです。かつて日の出舎では休日にカラオケをやっていたのですが、そこに私も一度参加させてもらったことがあって、そのとき、皆さん楽しそうにやっていたのを思い出したので、今は休止しているカラオケを再び始めようと思い立ちました。利用者さんたちが楽しみの時間を持つ機会が一つでも多くあれば本当はどんな活動でもいいと思っています。私には歌が好きだったので自然とカラオケになりました。職員の方の協力もあって、なんとか一月から始めることができました。

始める前は、日の出舎の利用者さんは歳が若いから楽しんでもらえるだろうか、人は集まってくれるだろうかと不安でしたが、やりながら工夫していけばいいのだと思いなおしました。当日になって日の出舎に行ってみると、すでに利用者さんは集まってくれていて、いざカラオケが始まると、思いがけず歌の上手な方が多く、また職員の方まで歌ってくださり、部屋の空気がひとつになっているのを感じました。私の心配は一気に吹っ飛び、喜びに変わりました。「よかった。本当によかった・・・」と思いました。終了後はボランティアで来てくれた方がみな喜びの言葉を口にして帰りました。これからもみなで支えあって、明るい、楽しいひと時となるように努力して行きたいと思えます。

利用者の皆さん、職員の皆さん、一緒に頑張っているボランティアさん、これからもよろしくお願いたします。



「障がい者の福祉」

前号は「障害者自立支援法」の日中活動の事業体系について記しましたが、今回は、夜間の居住を支援するためのサービスの説明をします。

これまで障がい種別と障がい程度等により分けられていた入所施設(日中もその施設にて生活していた)は完全に日中活動と居住(夜間)支援とに分けられることとなります。その中で、障がい者の住む場は、自立を除き、大きくは下記の5事業となります。

- 1 施設入所支援は、夜間において介護が必要な日中活動の生活介護利用者のうち、障がい程度区分4以上の方(50歳以上は区分3以上)、同じく自立訓練又は就労移行利用者のうち処々の理由で通所することが困難な方(利用期限限定...今のところ2年間)等で、夜間における入浴・排泄などの介護や、相談支援を行います。
- 2 ケアホーム(共同生活介護)は、障がい程度区分2以上の知的・精神障がい者が対象で、日常生活上の支援をする。日中は外部の日中活動支援を利用することとなっています。
- 3 グループホーム(共同生活援助)は、介護は必要とせず日中就労や自立訓練及び就労移行支援等を利用している、知的・精神障がい者。食事の提供や日常生活上の世話をすることとなっています。
- 4 福祉ホーム(区市町村地域生活支援事業)は低額な料金で居室などを提供します。
- 5 居住サポート事業(都道府県地域生活支援事業)は障がい者や家主の相談を受け、賃貸居住等に入居できるように、広域の相談支援事業者が支援します。

以上ですが、日中活動支援同様、全ての種別にその他にそれぞれ基準等設けられております。特に身体障がい者は、ケアホームとグループホームは対象外となっており、地域移行に関しては狭き門となります。その他にも居宅における支援を中心として様々なサービスが設けられています。従来の施設入所に関する制度は上記1だけとなっており、現状全国の入所施設を利用されている障がい者にとりましては非常に厳しい制度といえます。次回は、日の出舎が今後どの様な事業を展開しようとしているかを記します。

施設長 西田

2008年度 日の出舎年間予定

2007年度の日の出舎は、桜まつり参加に始まり、山野草展参加、産業祭参加、近隣福祉施設のイベント参加はもちろんのこと、秋祭り、石和温泉への一泊旅行、餅つきそしてクリスマス会、またボランティアさんと一緒に企画したアートフェスティバル、ボランティアの集いなど、盛り沢山の1年でした。

2008年の日の出舎は、納涼祭、クリスマス会はもちろんのこと、これからの日の出舎に向けて、より利用者の方一人ひとりの生活や希望に合わせた個別支援を充実していきたいと考えています。そのために経営理念の「わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます」を再確認し、2008年度を迎えたいと思います。

記憶

入所者Hさん

Hさんが幼少期の時代はとてもわんぱくで負けず嫌いな性格でした。幼少期に遊んでいたものは、メンコ、釣りをしており、小学校3年生の時には朝の5時～お昼の時間まで釣りをを行い、1日に100匹もの魚を釣っていた。Hさんの兄弟は、1娘3男の4人兄弟でHさんは末っ子である。Hさんは、16歳の時に一人暮らしを始め、昭和40年代に電気屋の内線工事を行っていた。色々な仕事を行って来た中で一番記憶に残っている仕事であると申ししていました。Hさんは群馬県出身で群馬では40名もの友達があり、東京では10名もの友達がいまして。18歳の頃は、パチンコ、飲み屋、ダンスをして遊んでいました。ダンスは当時ツイストダンスが流行であったため、ダンスホールでダンスをしていたそうです。また、Hさんは旅行が好きで、昔は日光、草津、箱根、榛名、赤城、妙義と三毛三山に行ったそうです。昔はとにかく遊んでばかりでした。今でも、昔の思い出が残っています。Hさんは、日の出舎に4年前に入所され、生活されています。Hさんは、日の出舎に来て驚いたことがあったそうです。他の利用者とは初対面なはずなのに、Hさんは入所されている方で知っている人がいたそうです。

買い物へ一緒に行ってくださいませんか？

施設で暮らしている方が月1回施設の車を使って買い物へ行きます。一人での買い物には不安がある等のことで一緒に付き添って下さるボランティアさんを募集します。

日時	4月26日(土)	10:00～12:00
	5月24日(土)	10:00～12:00
	6月28日(土)	10:00～12:00

場所 あきる野東急

担当 背戸・二見

TEL 042-597-1451

- その他
- ・集合解散場所は要相談(初参加の場合は日の出舎に来て頂きます)
 - ・初参加の場合は職員が丁寧にお伝えしますのでご安心下さい。
 - ・車椅子等を押したりすることもありますので動きやすい格好でお越し下さい。

日の出舎スケジュール

4月	5日(土)	桜まつり参加
	12日(土)	オンブズパーソン相談日
	26日(土)	買い物の日
5月	10日(土)	オンブズパーソン相談日
	24日(土)	買い物の日

編集後記

私は車で旅行することが多いのですが、ガソリン代の高騰には悩まされてきました。4月から暫定税率の廃止により25円安くなるとかならないとか。なんだかよく分かりませんが、少しでも良くなることを願うばかりです。 加藤